

# 人財育成委員会 事業計画

副理事長 照下 修平  
人財育成委員会 委員長 橋本 和也

1 近年、豊かな自然と文化に恵まれた小豆島は瀬戸内国際芸術祭の開催などアートの島と  
2 して注目されつつあります。感性を磨くのに恵まれた環境である一方、島の若者はこの土  
3 壌を活かしきれず自発的な行動が伴っていないため感受性を伸ばし切れずにいます。また、  
4 公益社団法人小豆島青年会議所（以下、小豆島 J C）は小豆島の未来のため様々な事業を  
5 構築していますが、それには小豆島 J Cメンバー全員の情熱と積極的な行動が必要です。

6 まずは、出席率の向上を目指すために、アカデミーメンバーへ聞き取り調査を行うとと  
7 もに、出席率向上を成功させた L O M を調べ工夫した点と改善された効果を精査し、今後  
8 の活動に取り入れることで、小豆島 J Cメンバーの出席率の向上を図ります。そして、小  
9 豆島 J Cメンバーに青年会議所の運動・活動への理解を深めて頂くために、京都会議を初  
10 め各諸大会へ出向き、日本青年会議所本会や地区・ブロック協議会の発信する運動・活動  
11 を肌で感じメンバーの親交と友情を深めることで、出席率の向上を持続的に行える環境を  
12 構築します。さらに、小豆島の未来を担う豊かな感性と才能あふれる若き人財を育てるた  
13 めに、音楽というジャンルに着目し、直にそして全身で体感できる場を提供し歌の持つ力・  
14 リズムが生み出す一体感を肌で感じ、自己認識能力の向上やクリエイティブな思考力・創  
15 造力を高めることで、積極性を高める人財を育成しアイデンティティを確立します。また、  
16 小豆島 J Cメンバーがより一体となりモチベーションを高めるために、心から楽しめる事  
17 業を構築し出席率 100%の例会を行い、達成感を共有することで、志気を高めます。

18 地域社会のリーダーとなるべく能動的な意識を開花させた小豆島 J Cメンバーが相互に  
19 向上しあうとともに、小豆島の未来を担う人財が育ち、さらにその人財によって次世代の  
20 島の宝となる人財を生み出していく好循環を島に創出し、明るい豊かな社会を実現します。

## 21 <事業計画>

- 22 1. 出席率向上のための調査
- 23 2. 人財育成事業の実施（7月）
- 24 3. 事業参加率向上に向けた事業の実施（12月）
- 25 4. 例会の設営（3月、6月、9月）
- 26 5. その他